

新年メッセージ

きぼう たいこう

希望の大光を 世界へ 未来へ！

創価学会インタナショナル会長 池田大作

しんせい いぶき

かくだい

かいまく

新生の息吹あふれる「青年学会 拡大の年」が開幕いたしました。

とうと みなさまがた

いちだん

尊き皆様方のおかげで、わが創価学会インタナショナル（SGI）は、一段

と

じゆ じんざいぐん

ほうはい おど

と大発展を遂げ、若き地涌の人材群が、世界のあな地でも、この国でも澎湃と躍

こうせんるふ

むか

り出る、広宣流布の新時代を迎えることができました。

かつやく

世界 192 カ国・地域で活躍する尊き同志と共に、私たちは、この 1 年も、わが生

がんじょ

かつかく のぼ

命に元初の太陽を、日々、赫々と昇らせながら、地域へ、社会へ、そして未来へ、

希望の大光を広げていこうではありませんか！

えいえん ししゅう

じょうせい

思えば、60 年前（1952 年）、永遠の師匠・戸田城聖先生は、青年部の研

ていしゅう

究発表会で「地球民族主義」のビジョンを提唱されました。そして私たち青年に、

そく

だいしめい

しょくん

「広宣流布」即「世界平和」の大使命に「諸君は立つか！ 立つか！」と問いか

けられたのです。

ちか

「立ちます！」——私は、この師への誓いのままに、偉大な同志と共に、世界広宣

きばん きず

流布の基盤を築き上げてきました。

むりょう こうけい

だいがん

つ

そして今、無量の後継の若き友が、この大願を受け継いでくれております。こ

たの

れほど頼もしいことはありません。

にちれんだいしょうにん ほうみょう ゆえ にんとうと ところとうと

日蓮大聖人は、「法妙なるが故に人貴し・人貴きが故に所尊し」(御書 1578 頁) と仰せであります。

そんき さ

SGI が、なぜ、かくも尊貴な人材の花を咲かせ、世界のいずこにあっても、それぞれの国土の繁栄に尽くすことができたのか。

はんえい つ

そんげん えいち きょうてん

こんぼん

それは、どこまでも、生命尊嚴の叡智の經典である「御書」を根本に、仏法即社会の正道を進み抜いてきたからであります。

せいどう ぬ

がんしゅ

はっかん

本年は、戸田先生が願主となられて『日蓮大聖人御書全集』が発刊されてから 60 周年にも当たっております。

ほうてん ほんちょう せいご こうせん ひ またかな やく ほんしん つう べ

この宝典が、「本朝の聖語も広宣の日は亦仮字を訳して梵震に通ず可し」(同 1613 頁) との日興上人の仰せの通り、今や、英語、中国語、スペイン語、

にっこうしょうにん

ほんやく

はいどく

フランス語などに翻訳されて、世界中で拝読される時代に入りました。

よろこ

大聖人、日興上人のお喜びはいかばかりでありましょうか。

かんしゅうしゃ

スペイン語版御書の総合監修者であるカルロス・ルビオ博士は、13 世紀の日本社会において、民衆の幸福のために、命を賭して立ち上がられた日蓮大聖人が、庶民の出身であることに注目されていきました。そして、生涯にわたり “戦う魂の人” として、いかなる迫害にも屈することなく、その信念を貫き通された御姿を、心から賞讃しておられたのであります。

と

しょみん

たたか たましい ひと

はくがい くつ

つらぬ

しょうさん

さらにまた、フランス語版御書の総合監修者、ドゥニ・ジラ博士も、「日蓮が何を

かたむ

ちが

こ

ばんにん

語り、伝えようとしたのかに耳を傾ければ、そこには、信仰の違いを超えて、万人

うった え せいしんとうそう きょうゆう
に 訴 える深い共通基盤となり得る「精神闘争の歴史」があり、「人類の共有
ざいさん きちよう どうきつ
財産」ともいふべき貴重な思想があります」と洞察されています。

さい
民族や文化、言語など、ありとあらゆる差異を超えて、民衆の一人一人から「生き
ちから じんどう
る力」を引き出さずにはおかない。そして、正義と人道のために「戦う魂」を強
げんせん
め、「開かれた心」を広げゆく源泉が、日蓮仏法であります。

かつごう そせい ふっごう
ここにこそ、現代世界が渴仰してやまない、人間の「蘇生」と「復興」の大哲学が
さけ
あると、私たちは声高らかに叫び抜いてまいりたいのであります。

ごせいくん
御聖訓には仰せであります。
ほけきよう たも たてまつ ほか ゆうらく げんせあんのん ごしょうぜんしょ これ
「法華経を持ち奉るより外に遊樂はなし現世安穩・後生善処とは是なり、
せけん るなんきた たま けんじん しょうにん こ こと
ただ世間の留難来るとも・とりあへ給うべからず、賢人・聖人も此の事はの
がれず」(同 1143 ㊦)

く らく くらく おも あわ
「苦をば苦とさとり樂をば樂とひらき苦樂ともに思い合せて南無妙法蓮華経と
唱 居
うちとなへるさせ給へ」(同 ㊦)
おそ
妙法に生き抜く人生に、恐れるものはありません。

へんどくいやく ゆうかん
わがSGIは、「変毒為薬」という希望の法理をもって、どんな苦難にも勇敢に
こんごうふえ ぜん
立ち向かい、共々に一切を乗り越えゆく、金剛不壊なる善のスクラムであります。

ぜんりょう しれん さら
「善良な者は試練にあうと更に善良になる。苦しんだことのない者は軽い」とは、
けいがん
スイスの哲学者アミエルの慧眼でありました。

だいしんさい こうずい
近年、東日本の大震災、タイの洪水、アメリカのハリケーン等々、世界的に自

さいがい ふきょう
然災害が打ち続き、経済不況も長引くなか、各地で人々が復興に立ち上がり、尊
おうごん ろうく
い黄金の労苦の汗を流しておられます。

ま ただなか みずか
その真っ只中で、わが創価の友が、自らも苦難を引き受けながら、友のために、
え こえたく ふんとう すうこう じゆ ぼきつ
なくてはならない依怙依託として、奮闘していることは、なんと崇高な地涌の菩薩
ふ ま
の振る舞いでありましょうか。

どうしんけんご こんど ほとけ たま
大聖人は、「いよいよ道心堅固にして今度・仏になり給へ」（御書 1184 頁）
しめ
と示されております。

いっしょうじょうぶつ ぶつどうしゆぎょう
いついかなる時も、一生成仏と広宣流布を目指しゆく仏道修行は、「今
から」であり、「ここから」であります。

きよくじつ
この永遠に前進しゆく旭日の魂こそ、「創価」の心であります。
ちよめい もと
アメリカの著名な教育者で、デューイ協会の元会長であるガリソン博士は語っ
てくださいました。

かいかき じゅうなんせい
「SGIは、まだ若く開花期にあります。その運動が開放的で、柔軟性をもち、
み
“教える”と同時に“学ぶ”意欲に満ちているかぎり、SGIは必ずや成長し続けるこ
とでしょう」

つね きゅうどう ぎょうがく はげ しんけん
常に若々しい求道の生命で「行学の二道」に励み、真剣に学び、勇敢に
ちようせん きょうがい
行動へ打って出る——。そのたゆまぬ挑戦のなかで、わが境涯を拡大し、友情
しんらい
と信頼を拡大し、そして青年学会を拡大していきたいのであります。

おんし げんすいばくきんしせんげん ふしめ
本年は、恩師の「原水爆禁止宣言」から55周年の節目でもあります。

青年への遺訓として託された歴史的宣言を、私は恩師に代わって、世界中に広めて
きました。「君の舞台は世界だ」との恩師の師子吼を胸に、対話を繰り広げ、世界
平和への連帯を築き上げてきました。

私の心は、ただ一つ、「戸田先生のために！」「戸田先生に喜んでいただくため！」
でありました。だから、何の惑いもない。何の悔いもありません。

師弟の誓願の道に徹する時、自身の力は無限に渾々と湧き出でるのです。

さあ、共々に、妙法を朗々と唱え抜き、「歡喜の中の大歡喜」（同 788 頁）の生
命を躍動させながら、人類の希望と光る「平和」と「文化」と「教育」の大連帯を勝
ち開いていこうではありませんか！

敬愛する皆様方の健康幸福と無事安穩、そして栄光勝利を、私と妻は、これまで
にもまして強盛に祈り抜いてまいります。

どうか、お元気で！

2012年 元旦